

令和2年度 事業報告

令和3年6月22日

公益財団法人 熊本県総合保健センター

目 次

1	総括	P1
2	令和2年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて	P1～2
	(1) 基本戦略について	P1
	(2) 事業戦略について	P1.2
3	保健事業実績	P3～7
	(1) 地域保健	P3
	(2) 職域保健	P4
	(3) 学校保健	P5
	(4) 特定保健指導	P6
	(5) 産業保健活動	P7
	(6) 精度管理	P7
4	普及啓発活動	P8～10
	(1) 自主事業	P8
	(2) 支部事業	P9
	(3) 協力事業	P9.10
5	健康経営（SOUHO 革命）	P10
6	学会発表等	P11～13
7	その他	P13
	(1) 熊本県集団検診機関連絡会	P13
	(2) 熊本県胃検診推進協議会	P13
	(3) 主な行事	P14
	(4) 学会・研修会等参加状況	P15
	附属明細	P16

1 総括

令和2年度の保健事業実績については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、大幅な受診数減となった。内容としては、地域保健は217,371人(昨年度比84%)、職域保健は96,020人(昨年度比97%)、学校保健20,053人(昨年度比83%)となり、合計は333,444人(昨年度比87%)であった。

地域保健の巡回健診において4~6月の健診中止分を7月以降へ順次遅らせることとしたが、その後も感染拡大により再度の延期となるなど、年度末まで変更の対応を行った。それでも、受診者が集団で行う健診での新型コロナウイルス感染への不安からか、予約に対しての実施率が伸びず、また、一部の自治体では健診中止となったため、受診数が減少した。

しかし、職域保健では巡回・施設健診共に新型コロナウイルス感染症拡大時にも健診が中止になる事が少なかったため、影響は少なかった。

また、特定保健指導については、職域保健(巡回・施設)で新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けにくいWebによるリモート面談を実施したことにより、面談の最終的な減少を最小限に抑えられた。

よって、「熊本県健康増進計画(第4次くまもと21ヘルスプラン)」、「第3次熊本県がん対策推進計画」の生活習慣病に係る特定健康診査や、がん予防に係るがん検診を担う健診機関として、コロナ禍の中で三密を避けるなど、感染症対策を十分にとり、「質の高い健診の提供や健康に関する情報提供」などの役割を果たせたものとする。

2 令和2年度基本戦略及び事業戦略の取り組みについて

(1) 基本戦略について

総務部において経営計画第一期の目標である経営基盤の確立の為、①生産性向上②人材力強化③組織風土改革④コンプライアンスの4つの戦略に取り組んだ。戦略内の各課題については一期3年の1年目で、具体的な進捗はこれからであるが、給与表や退職金支給制度の見直し、各種手当の見直しをおこなった。今後も新健診システムの稼働を見ながら取り組んでいく。

(2) 事業戦略について

① 巡回健診部

医師確保対策については、派遣会社4社と契約した結果、随時医師派遣が可能となり、年間通してある程度安定した確保ができた。

職域保健については、協会けんぽの健診を中心とした内容での事業所健診を拡大することを方針とし、今年度は3事業所と新たに契約した。

② 施設健診部

協会けんぽの補助を利用して受診できる人間ドックの検査内容を当センターの日帰り人間ドックと同じ検査内容にした。具体的には、胸部レントゲンを二方向撮影に変更、血液検査8項目と眼圧を追加し、充実を図った。現在、申込数の変化を見ている状況である。

また、新型コロナウイルス感染症対策として待合室に設置していた雑誌を撤去するとともに、顧客満足度向上の一環として、受診者用フリーwi-fiを導入した。

さらに、受診者の待ち時間短縮の為、超音波検査装置を3台設置できるよう検査室の拡大改修を行った。

③ 健康管理部

健康教育については、大津町の灰塚地区街づくり担い手育成事業へ参画し、医師及び管理栄養士がフレイル（加齢により心身が老い衰えた状態のこと）予防のための栄養、運動等のセミナーを6回行った。その結果、特に「フレイル」という言葉の認知度が向上しており、受講者から、健康への意識づけや社会参加のきっかけとなったとの声が得られた。

精密検査受診率向上については、職域において1から2回の勧奨を3回に増やすことにより、受診率が79.2%となり前年度より3.6%上がった。

産業保健活動の推進については、労働安全衛生法に基づく健康管理に加え、健康経営の推進や、個人・集団・組織に寄り添った産業保健活動を活発に行った。

また、新型コロナウイルス感染症拡大で面談の中止が続いたことにより、オンラインによる衛生委員会への参加や個別面談に移行するなど、ICTを活用した特定保健指導を行った。

併せて、令和2年8月に熊本県が中心となり「人生100年くまもとコンソーシアム」が設立され、熊本県から委託を受け、事務局として事業の企画・立案を行った。特に課題疾病の抽出及びデータ分析を行い、健康課題や対応策の検討を行った。また、公衆衛生に携わる保健・医療専門職の人材育成の強化に向けた検討も行った。

3 保健事業実績

当センターが実施する保健事業は、「地域保健」、「職域保健」、「学校保健」の3つに分けられ、令和2年度実績数は、以下のとおりである。

(1) 地域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
特定健康診査	22,628	20,266	△2,362	24,227	△3,961	84%
ふるさと総合健診	8,388	6,880	△1,508	9,174	△2,294	75%
胃がん検診	15,699	13,976	△1,723	17,102	△3,126	82%
子宮頸がん検診	14,391	12,995	△1,396	15,137	△2,142	86%
乳がん検診	20,051	18,469	△1,582	21,210	△2,741	87%
肺がん検診	34,367	32,319	△2,048	38,442	△6,123	84%
大腸がん検診	20,154	19,383	△771	21,735	△2,352	89%
結核検診	40,562	38,196	△2,366	44,558	△6,362	86%
骨粗鬆症検診	7,333	5,901	△1,432	8,165	△2,264	72%
腹部超音波検診	30,659	26,904	△3,755	33,525	△6,621	80%
前立腺がん検診	8,686	6,977	△1,709	8,294	△1,317	84%
肝炎ウイルス検査	1,363	1,223	△140	1,530	△307	80%
小計	224,281	203,489	△20,792	243,099	△39,610	84%

達成率 91%

② 施設健診

(単位：人)

健（検）診項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
特定健康診査	1,804	1,809	5	2,092	△283	86%
日帰りドック等	837	824	△13	1,018	△194	81%
胃がん検診	1,406	1,304	△102	1,590	△286	82%
子宮頸がん検診	1,747	1,721	△26	1,849	△128	93%
乳がん検診	2,201	2,235	34	2,407	△172	93%
肺がん検診	2,090	2,116	26	2,320	△204	91%
大腸がん検診	1,775	1,690	△85	1,984	△294	85%
結核検診	1,439	2,052	613	2,262	△210	91%
骨粗鬆症検診	4	18	14	25	△7	72%
前立腺がん検診	111	91	△20	127	△36	72%
肝炎ウイルス検査	13	22	9	34	△12	65%
小計	13,427	13,882	455	15,708	△1,826	88%

達成率 103%

地域保健	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	237,708	217,371	△20,337	258,807	△41,436	84%

達成率 91%

(2) 職域保健

① 巡回健診

(単位：人)

健(検)診項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
定期Aコース	4,156	4,338	182	4,618	△280	94%
定期Bコース	14,642	14,122	△520	14,605	△483	97%
生活習慣病予防コース	2,135	2,138	3	2,070	68	103%
協会健保(一般)	4,879	4,644	△235	4,380	264	106%
特殊健診	7,126	8,035	909	8,179	△144	98%
特定健康診査	1,091	1,396	305	1,844	△448	76%
結核検診	5,440	6,063	623	6,298	△235	96%
胃がん検診	796	769	△27	932	△163	83%
子宮頸がん検診	290	344	54	365	△21	94%
乳がん検診	310	400	90	409	△9	98%
大腸がん検診	3,480	3,911	431	4,041	△130	97%
腹部超音波検診	1,584	1,555	△29	1,517	38	103%
ストレスチェック	5,455	5,713	258	6,000	△287	95%
小計	51,384	53,428	2,044	55,258	△1,830	97%

達成率 104%

② 施設健診

(単位：人)

健(検)診項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
定期Aコース	573	506	△67	537	△31	94%
定期Bコース	6,519	7,436	917	7,718	△282	96%
生活習慣病予防コース	3,207	3,526	319	3,568	△42	99%
協会健保(一般)	8,595	9,320	725	9,176	144	102%
協会健保(ドック)	1,615	1,773	158	1,779	△6	100%
各種人間ドック	3,502	3,855	353	4,045	△190	95%
特殊健診	1,533	1,560	27	1,597	△37	98%
特定健康診査	872	789	△83	891	△102	89%
胃がん検診	719	721	2	823	△102	88%
子宮頸がん検診	2,475	2,597	122	2,888	△291	90%
乳がん検診	3,667	3,948	281	4,102	△154	96%
大腸がん検診	766	698	△68	771	△73	91%
腹部超音波検診	1,462	1,423	△39	1,474	△51	97%
ストレスチェック	3,123	4,440	1,317	4,337	103	102%
小計	38,628	42,592	3,964	43,706	△1,114	97%

達成率 110%

職域保健	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	90,012	96,020	6,008	98,964	△2,944	97%

達成率 107%

(3) 学校保健

① 教職員

(単位：人)

健(検)診項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
結核検診	6,255	6,527	272	6,638	△111	98%
結核検診(精密)	31	37	6	60	△23	62%
胃がん検診	2,265	2,818	553	3,266	△448	86%
小計	8,551	9,382	831	9,964	△582	94%

達成率 110%

② 学生

(単位：人)

健(検)診項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
結核検診	9,284	10,563	1,279	10,929	△366	97%
結核検診(精密)	1	7	6	17	△10	41%
ツベルクリン反応・BCG	0	0	0	0	0	0%
尿・心電図・貧血・診察	0	101	101	3,130	△3,029	3%
小計	9,285	10,671	1,386	14,076	△3,405	76%

達成率 115%

学校保健	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	17,836	20,053	2,217	24,040	△3,987	83%

達成率 112%

～ 実績合計 ～

(単位：人)

巡回健(検)診	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	293,501	276,970	△16,531	322,397	△45,427	86%

達成率 94%

(単位：人)

施設健(検)診	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
合計	52,055	56,474	4,419	59,414	△2,940	95%

達成率 108%

(単位：人)

総合計	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
	345,556	333,444	△12,112	381,811	△48,367	87%

達成率 96%

(4) 特定保健指導

特定保健指導は、センターが実施する健康診断の受診者に対して行う保健事業である。健診受診後の生活習慣改善につなげるための重要な事業である。保健師、管理栄養士が、センター施設内及び各地域へ出向き実施する。

〔地域 巡回〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	335	507	172	696	△189	72.8%
積極的支援	110	123	13	160	△37	76.9%
合計	445	630	185	856	△226	73.6%

〔地域 施設〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	51	109	58	56	53	194.6%
積極的支援	8	30	22	14	16	214.3%
合計	59	139	80	70	69	198.6%

〔職域 巡回〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	69	80	11	37	43	216.2%
積極的支援	163	181	18	100	81	181.0%
合計	232	261	29	137	124	190.5%

〔職域 施設〕

(単位：人)

特定保健指導項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	175	246	71	260	△14	94.6%
積極的支援	322	330	8	427	△97	77.3%
合計	232	576	79	687	△111	83.8%

～ 特定保健指導 実績合計 ～

(単位：人)

特定保健指導項目	令和2年度 計画 A	令和2年度 実績 B	計画比 (B-A)	令和元年度 実績 C	実績比 (B-C)	増減率 B/C
動機付け支援	630	942	312	1,049	△107	89.8%
積極的支援	603	664	61	701	△37	94.7%
合計	1,233	1,606	373	1,750	△144	91.8%

達成率 130%

(5) 産業保健活動

産業医を受託している 41 事業所に対し、働く人の健康保持増進や快適な職場環境の形成のため、労働安全衛生規則における労働衛生の 5 管理（作業環境管理、作業管理、健康管理、労働衛生教育、総括管理）に基づき、職場巡視の実施及び衛生委員会への参加を行った。また、半数近い事業所では、各種セミナー、長時間労働者やメンタル不調者への面談、退職者への職場復帰支援の取り組みも行った。さらに事業所が実施する健康経営に対し、禁煙・食育の指導等により、総合的なサポートや新型コロナウイルス感染拡大予防についてのセミナー等も行った。

なお、産業保健研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(6) 精度管理

がん検診における精度管理のひとつとして、検診後の精密検査結果を把握し、その集計統計から発見されるがんの数等を全国レベルと比較している。また、発見されたがんについては、「発見がん個票」を作成し、がんのステージや組織、分類等について追跡調査を行い、関係市町村と連携し受診者の事後管理に努めている。なお、日本対がん協会へ報告を行った平成 30 年度におけるがん検診の実績は下表のとおりである。

また、熊本県からの受託事業として実施している「がん登録事業」は、県内の医療機関の協力により、全国がん登録に係るデータ 23,037 件、地域がん登録に係るデータ 58 件を受理し、国に設置されたデータベースへの登録を行った。併せて、平成 30 年度の病院別に実施する遡り調査を 509 件行った。更に、各医療機関から提供されたデータを対象に、がんに係る調査研究目的のため、67,261 件の予後情報を入力した。

	発見がん数 (人)	要精検率 (%)	精検受診率 (%)	がん発見率 (%)
肺がん検診	14	0.31	88.14	0.02
	1,520	1.99	79.59	0.05
胃がん検診	24	2.64	76.60	0.05
	2,202	6.03	80.14	0.11
大腸がん検診	38	6.41	69.38	0.07
	4,185	5.83	68.21	0.17
子宮頸がん検診	56	3.10	83.27	0.16
	185	1.49	81.97	0.01
乳がん検診	68	3.98	84.86	0.21
	3,241	4.49	90.31	0.26
総 数	200			
	11,333			

※1 各項目の上段にセンター実績、下段に全国実績を記載。

※2 全国実績については「2020 年度版がん検診年次報告書」より記載。

※3 胃がん検診の発見がん数には、内視鏡を含む。

※4 子宮頸がん検診の発見がん数には、上皮内癌を含む。

がん検診のプロセス指標（許容値）

指 標	肺がん	胃がん	大腸がん	子宮頸がん	乳がん
要精検率	3.0%以下	11.0%以下	7.0%以下	1.4%以下	11.0%以下
精検受診率	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	80%以上
がん発見率	0.03%以上	0.11%以上	0.13%以上	0.05%以上	0.23%以上

4 普及啓発活動

法人独自による公益目的事業のための普及啓発活動はもとより、公益財団法人結核予防会及び公益財団法人日本対がん協会の熊本県支部としての普及啓発を行っている。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため、講演会や地域イベントがすべて中止となり、参加型の普及啓発が実施できなかった。

(1) 自主事業（健康講話等）

産業医受託事業場と連携し、各健康課題に合わせ、生活習慣病予防等の講話を産業医、保健師および管理栄養士が実施した。

また、新型コロナウイルス感染予防対策や、法律の変化に沿ったハラスメントに関する講話等、健康職場を構築するための活動を推進した。

実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参加者数を制限して実施回数を増やす、オンラインでの研修を行う等の対策を行った。

区分	内容	回数
生活習慣病予防	免疫力アップの方法 アルコール・喫煙の影響 ボディメイクチャレンジ 健診後の事後措置について 等	22回
職場環境関連	新型コロナウイルス感染対策 プラスの視点でエイジフレンドリー 長時間労働者への対応、対策 等	20回
メンタルヘルス関連	レジリエンスでストレスマネジメント STOP!ハラスメント アンガーマネジメント活用術 ストレスチェック結果分析報告 大人の発達障害と職場づくり ラインケアとセルフケア 等	38回
その他	応急処置 新型コロナの中での熱中症 胃腸に優しい食事 Let's クッキング 等	25回
	合計	105回

(2) 支部事業

① 複十字シール運動

例年、複十字シール運動（8月1日～12月31日）開始に合わせ、熊本県健康を守る婦人の会役員、当センターマスコットキャラクター「そうほくん」とともに、蒲島郁夫熊本県知事を表敬訪問し、結核の現状及び複十字シール運動の趣旨説明や運動への協力をお願いしている。しかし、今年度は新型コロナウイルスの感染症拡大及び熊本南部豪雨災害により急遽中止となった。

なお、今年度の募金総額は、コロナ禍においても健康を守る婦人の会のご尽力により、5,911,144円であった。

② 結核予防・がん征圧街頭キャンペーン

全国一斉結核予防週間（9月24日～9月30日）及びがん征圧月間（9月）に係る行事として、県民への結核・がんに対する正しい知識の普及啓発のため、熊本県健康を守る婦人の会とともに、複十字シール運動募金及び普及啓発活動を例年行っているが、これらも新型コロナウイルス感染症拡大により中止した。

③ リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2020 くまもと

熊本県において10回目の開催となるがん患者支援・がん啓発24時間ウォークチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ」も、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。

(3) 協力事業

① ジャパン・マンモグラフィー・サンデー [令和2年10月18日(日)]

子育て・介護・仕事など多忙な日々を過ごす女性のため、「10月の第3日曜日に全国どこでもマンモグラフィー検査が受診できる環境作り」を提唱する「ジャパン・マンモグラフィー・サンデー（JMSプログラム）」に賛同し、乳がん検診をはじめ、肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、子宮がん検診を当センター施設で実施した。

なお、実施数は以下のとおり。

乳がん検診 50名 肺がん検診 76名 胃がん検診 65名 大腸がん検診 69名

子宮がん検診 48名

受診総数 124名

② テレビ出演による普及啓発活動

- ・TKU「てれくまくん医療情報室」(熊本県医師会へ協賛)
 - 令和2年8月26日(水)「がん征圧月間」 上田 城久朗 医師
 - 令和2年9月16日(水)「結核予防週間」 西 潤子 医師
 - 令和2年10月28日(水)「糖尿病」 土亀 直俊 医師
 - 令和3年1月21日(木)「特定健診」 上田 城久朗 医師
- ・TKU「くらしの窓」(熊本県医師会へ協賛)
 - 令和3年1月30日(土)「がん検診について」 村上 晴彦 医師
- ・RKK「くまモンスマイルジャンプ」
 - 令和2年10月28日(水)「がん検診受診率向上を目指して」 土亀 直俊 医師

③ 「おかえりQR・そうほくん版」作製

株式会社マップル様より作製されている「おかえりQR」シールに、当センターのマスケットキャラクター「そうほくん」版が追加され、「認知症の人と家族の会」熊本支部へ寄付された。

※おかえりQR

介護者や保護者のメールアドレスを登録したQRコードシールを認知症等の方の持物に貼付し、その方が迷子になった時に周囲の人がQRを読み取ることで、登録メールアドレスに連絡できるツール。

5 健康経営「SOUHO革命」

国が推奨する「健康経営」について、センター職員の自己健康管理能力を高め、心身の健康を向上させ、センター経営の発展につなげることを目的に「SOUHO革命」と称し、①栄養、②運動、③禁煙、④睡眠の4つの柱を置いたプログラムを策定した。

コロナ感染症の影響を鑑みて、スポーツ大会等の大人数が集まるプログラムは中止したが、健康セミナー、歩数アップ大会等、各個人でも参加可能なものを実施した。

また、昨年度より引き続き保健師・管理栄養士・運動指導士のサポートにより、「食」と「運動」の両面から体調・体重管理を行う「ボディメイク！チャレンジ☆」を実施した。

さらに、今年度、従業員の健康増進に取り組む企業の連携を目的として、全国健康保険協会(協会けんぽ)熊本県支部の呼びかけで設立された「くまもと健康企業会」に幹事企業として参加した。

6 学会発表等

- (1) 第 59 回 日本消化器がん検診学会総会 9 月 30 日 (水) ~10 月 1 日 (木)
「逐年受診の進行がん症例における技師読影補助の有用性」

診療放射線技師 山本 高弘

目的

逐年検診にも関わらず発見時すでに進行胃がんと診断される症例がある。このような症例をなくすため、技師読影補助が寄与できるかについて検討した。

方法

発見時進行がん前年度画像を医師・技師による再読影を行うことで検討した。医師再読影は当センターの読影医（認定医）3 名、技師再読影を技師 16 名で行った。3 名の医師全員指摘できたものを指摘可能、1 名でも指摘できないものを指摘困難、3 名とも指摘できないものを指摘不能とし、再技師読影結果を現技師チェック法結果と比較し検討を行った。

結果

医師再読影による指摘可能 2 例、指摘困難 3 例、指摘不能 3 例となった。現在の技師チェック方法では全例未チェックだったが、技師再読影においては指摘することができた。

考察

今回対象となった症例はすべて対策型移動健診からのみであった。基本的に鎮痙剤の使用もなく、短時間に多くの受診者を撮影する場合も多くあるが、現チェック方法での所見見逃しの主な要因としては読影力不足、撮影技術不足、透視観察足、腸管との重なり、所見描出の悪さなどが挙げられた。しかしながら、再読影において所見をチェックしているという結果が少なからずあるのを考えれば、検診後施設において撮影画像を読影用モニターで時間に追われることなく所見チェックすれば、進行がんになる前に早期の段階で発見するには有用であると思われる。当センターにおいても技師チェック方法の見直しを図りたいと考える。

まとめ

今後、勤務時間の問題、読影力向上、撮影技術向上等の課題も検討する。

(2) 第 93 回 日本産業衛生学会 全国学会 令和 2 年 5 月 13 日～17 日
「ストレス改善のための産業保健活動の優先順位を考える ～保健師の視点から～」
保健師 堀口 真愛

目的

働き方改革関連法の一環で、2019 年 4 月 1 日に「労働安全衛生法」が改正されたことにより、「産業医・産業保健機能」が強化された。しかし中小企業では、経済的な面や人的資源が充分ではないため、安全管理体制の不備や産業保健活動未実施等の問題が生じている。特に、メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業場は、2018 年の「労働安全衛生調査（実態調査）」の結果では 59.2%にとどまっている。当センターにおいても、産業医契約を県内の中小企業 42 事業場と結び、様々なメンタルヘルス対策に取り組んでいる。今回我々は、ストレスチェックの 3 項目（「ストレス反応」、「ストレス要因」、「サポート」）を改善させる産業保健活動との関連性について解析し、中小企業内での効果的な介入方法の優先順位を明らかにすることを目的として研究を実施した。

方法

当センターで産業医契約を結んでいる 42 事業場の従業員は 3,395 名である。この中で、2017 年にストレスチェックを実施した従業員のうち、健康診断受診者、2018 年のストレスチェックの有効回答者 1,777 名（平均年齢 39.9±12.3 歳、男性 874 名、女性 903 名）を対象に解析を行った。分析に用いた調査は、ストレスチェック（職業性ストレス簡易調査票 57 項目）である。2017 年から 2018 年の 1 年間で「ストレス反応」、「ストレス要因」、「サポート」の 3 項目が改善した群、改善しなかった群（変化なし含む）の 2 群に分け、改善に効果のある産業保健活動（職場巡視、安全衛生委員会、教育、面談）を解析した。解析では、年齢、性別を調整した二項ロジスティック回帰分析を行い、オッズ比を算出した。

結果

「ストレス反応」においては、改善群では安全衛生委員会実施（OR=1.33, 95%CI: 1.09-1.62）、個別面談実施（OR=1.88, 95%: 1.40-2.53）という結果で、「仕事のストレス要因」においては、改善群では職場巡視実施（OR=1.30, 95%CI: 1.05-1.61）、安全衛生委員会実施（OR=1.38, 95%: 1.13-1.68）という結果で、効果的な各活動が判明した。「サポート体制」においては、どの活動でも有意な差はみられなかった。また、ストレスチェックの 3 項目全てが改善した群では、職場巡視実施（OR=1.65 95%CI: 1.25-2.18）、安全衛生委員会実施（OR=1.53, 95%CI: 1.20-1.95）という活動因子が抽出された。

考察

「ストレス反応」改善のためには、安全衛生委員会の開催、個別面談の実施、「仕事のストレス要因」改善のためには、職場巡視、安全衛生委員会の開催が効果的だといえる。また、3項目全ての改善には、職場巡視、安全衛生委員会の開催が効果的なことが認められた。個別への介入が困難な中小企業においても、まずは組織全体へ介入することでストレス改善に効果があると考えられる。本研究の結論の一般化の妥当性については、現時点では不透明であるが、ストレス改善のためには、職場巡視、安全衛生委員会の開催という法令遵守の活動が重要な対策であることを示唆する結果と解釈した。

- (3) 第59回 日本消化器がん検診学会総会 9月30日(水)～10月1日(木)
「逐年受診の進行がん症例における技師読影補助の有用性」

医師 上田 城久朗

「当センターにおける胃がん検診の現状」

X線検査による胃がん検診は、放射線技師の技術向上により画質は格段に改善された。しかし、ここ数年X線検査による胃がん検診は徐々に減少傾向にある。2016年度の当センターの検診結果は、X線検査42754名中、要精検者1971(4.6%)、精検受診者1478、がん発見32(0.07%)、早期癌率75%であった。一方、内視鏡検査5462名中、要精検者109(2.0%)、精検受診者96、がん発見数6(1.1%)、早期癌率83%であった。この原因について検討し、若干の知見を得たので報告する。

- (4) 第2回くまもと健康企業会定例会(熊本市) 11月4日(水)

「熊本県総合保健センターにおける健康経営SOUHO革命の取り組み」

保健師 下村 愛

7 その他

- (1) 熊本県集団検診機関連絡会

当センターが事務局として、県内11ヶ所の集団検診機関及び行政との連携協力を図ることを目的に定例会を年2回開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。

- (2) 熊本県胃検診推進協議会

当センターが事務局として、胃集団検診機関並びに胃がん精密検査機関の精度向上と検診業務等の円滑な推進を目的に研修会及び講演会等を開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大によりこれも中止となった。

(3) 主な行事

月	日	名 称	場 所
4	1	採用 辞令交付式	熊本市
5	28	令和元年度事業に係る事業及び会計監査	熊本市
6	4	第1回常務理事会・第1回理事会	熊本市
	23	定時評議員会・臨時理事会	熊本市
9	12	日本対がん協会 がん征圧全国大会（オンライン）	東京都
11	9	第2回常務理事会・第2回理事会	熊本市
12	2	臨時評議員会	熊本市
	17-18	職員採用試験	熊本市
	28	仕事納め式	熊本市
1	4	仕事始め式	熊本市
	8	安全祈願式	熊本市
2	1	定期人事異動 辞令交付式	熊本市
3	2	結核予防会 結核予防全国大会・次期開催県挨拶（オンライン）	東京都
	22	第3回常務理事・第3回理事会	熊本市
	26	熊本県総合保健センター永年勤続表彰	熊本市
	31	退職 辞令交付式	熊本市

(4) 学会・研修会等参加状況

月	日	名 称	場 所
5	13	第93回日本産業衛生学会	オンライン
6	4	日本がん登録協議会 第29回学術集会及びがん登録担当者研修会	オンライン
	20	第61回日本臨床細胞診学会総会 春期大会	オンライン
8	3	くまもと健康企業会 発足式	熊本市
	18	社会保険事務講習会	熊本市
	20	公益・一般法人「経営者」特別セミナー	オンライン
	21	健康経営アドバイザー認定研修	オンライン
	22	第79・80回 細胞検査士教育セミナー	オンライン
	31	第1回生活習慣病予防健診実施機関会議	熊本市
9	7	協会けんぽ 保健師・管理栄養士合同研修会	オンライン
	13	第60回 東北地方会学術集会	オンライン
	17	健康経営アドバイザー認定研修	オンライン
	30	第59回日本消化器がん検診学会総会	オンライン
	30	健康経営アドバイザー認定研修	オンライン
10	4	第30回 九州地方会学術集会及び地方講習会	オンライン
	5	公益法人・一般法人会計セミナー「基礎編」	鹿児島市
	10	第30回四国地方会学術集会及び地方講習会	オンライン
	21	木曜教室「今さら聞けない労務管理 基本の『キ』」講座	熊本市
	23	国保・保健主管課長・担当者合同研修会	熊本市
	28	精神・発達障害者しごとサポーター養成講座	熊本市
	29	防火管理講習	熊本市
	30	日本経済新聞社「新型コロナが迫る、ペーパーレス新常态」	オンライン
	31	第53回細胞検査士資格認定試験	大阪市
	11	5	第100回日本消化器内視鏡学会総会
5		JDDW2020 KOBE	オンライン
6		全国公益法人協会 最近の法改正と労務管理のポイント	福岡市
20		熊本法人会 木曜教室 年末調整の改正点と実務のポイント	熊本市
21		熊本県看護協会保健師ネットワーク会議	熊本市
25		熊本法人会 令和2年分給与所得の年末調整説明会	熊本市
25		JATA（結核予防会）災害時支援協力者研修	オンライン
26		労働調査会 ビジネスセミナー2020「労働塾」	福岡市
12	1	第93回 日本超音波医学会 学術集会及び講習会	オンライン
	2	公益法人・一般法人会計セミナー「実務編」	鹿児島市
	4	全国公益法人協会 「予算準備？目標予算？予算の上手な活用法」	福岡市
	5	第53回細胞検査士資格認定試験(第2次)	東京都
	11	第37回結核予防会事務職員セミナー	オンライン
	13	熊本県がん検診従事者認定協議会子宮がん検診従事者講習会	熊本市
	17	新施設建設のため視察訪問	熊本市
1	25	熊本市国保生活習慣病重症化予防研修会	熊本市
	29	国民年金保険に係る保健事業の好事例の横展開研修会	熊本市
2	1	第14回日本がん検診・診断学会習熟講習会	オンライン
	3	同一労働同一賃金・パワーハラスメント対策等説明会	オンライン
	16	令和2年度第2回生活習慣病予防健診及び特定保健指導	オンライン
	20	第29回日本婦人科がん検診学会総会・学術講演会	オンライン
	20	くまもとメディカルネットワーク研修会	オンライン
	21	健康運動指導士 更新必修講座	鹿児島市
3	10	熊本県健康を守る婦人の会 会員研修会	熊本市
	15	第28回日本CT検診学会学術集会	オンライン
	20	第81回細胞検査士ワークショップ	オンライン
	25	くまもと健康企業会第3回定例会	熊本市

※ オンライン開催については、学会等の配信開始日を記載。

令和2年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和3年6月

公益財団法人 熊本県総合保健センター